

ピース・ウイング長崎

# 平和のあゆみ

(令和3年度 事業報告)



みんなで  
平和の輪を  
広げましょう!



未来へ伝えたい被爆者の言葉

長崎平和推進協会は、平和について考える「きっかけづくり」を行っています。

被爆地長崎の闘いである「核兵器廃絶と世界恒久平和の実現」を目指して、官民一体となって会員や市民の皆様にご協力いただきながら活動しています。

- 被爆者による体験講話
- 平和案内人(ボランティアガイド)による原爆資料館等の案内
- 家族・交流証言者、青少年ピースボランティアなどの活動(長崎市からの受託)
- 国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館の運営(国からの受託) 他

平和事業を支えてくださる会員を募集しています! 最新の活動内容はコチラから

Home Page

協会についての詳しい情報はコチラ



Instagram

青少年ピースボランティアの活動情報を知ろう



LINE

イベント案内など最新情報を発信



公益財団法人 長崎平和推進協会

〒852-8117 長崎市平野町7-8 [TEL]095-844-9922 [FAX]095-844-9961 [MAIL] info@peace-wing-n.or.jp

「原爆資料館」電停に設置した協会紹介の電照看板

公益財団法人 長崎平和推進協会

Nagasaki Foundation for the Promotion of Peace

# Contents

公益財団法人 長崎平和推進協会	1
みんなで平和の輪を広げましょう！	
設立の意義	
沿革	
事業	
会員制度	
組織図	
会員制度について	2
寄附金について	2
会費及び寄附金の税額控除について	3
I 平和推進事業	
1 発刊事業	4
2 啓発事業	5
3 継承事業	7
4 育成事業	9
II 国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館運営事業	12
III 収益事業	14
理事・評議員・監事について	14
公益財団法人 長崎平和推進協会 この一年の動き	15

※当協会の愛称「ピース・ウイング長崎」は広報紙や全国公募ガイドなどを通して呼びかけ、決定したものです。「長崎から平和を訴えていくための翼となってほしい」という願いが込められています。



# 公益財団法人 長崎平和推進協会

みんなで平和の輪を  
広げましょう！

## 設立の意義 ※設立趣意書から掲載

原子爆弾の惨禍を身をもって体験した長崎市民は、国境を越え、人種を超え、考え方の相違を乗り越えて、全世界に向かって恒久平和の実現を訴える責務があります。

全ての社会秩序の根幹は平和であり、平和でなければ、文化の向上も、科学の進歩も、経済の発展も望めません。しかし、現実の世界情勢は、核兵器の増加拡散が、また局部的な紛争や東西間の緊張がとどまることなく続いています。

長崎市は人類史上最後の被爆地でなければなりません。長崎市民は、全人類的な視野に立って、核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現に寄与するとともに、人類の福祉に貢献することが必要であると考えます。

## 沿革

長崎市は、原爆被災都市ナガサキの使命として、従前から長崎市の固有事務として各種の平和推進のための施策を行ってきました。

しかし、行政独自では種々のあい路があることから、この施策をさらに効果的に施行するために、昭和58年2月、広く市民の参加を求め、初代理事長秋月辰一郎氏の「小異を残して大同に集まる」という理念のもと官民一体となった任意団体長崎平和推進協会を発足させ、被爆体験の継承をはじめ、平和に対する意識高揚のための事業に取り組んでまいりました。

長崎市民の悲願である核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現という究極の理念達成のためには、さらに確固たる目的をもって永続性のある公益性の高い平和推進体制を樹立し、文化を基調とした事業を通じて、幅広い見識と高い知性の国際感覚に優れた市民を育成することが望まれます。

このような理由から昭和59年4月1日、財団法人長崎平和推進協会を設立しました。以来、長年にわたって被爆体験講話をはじめさまざまな平和推進事業を展開してきました。平成21年4月1日には、財団設立25周年を迎え、同年度中には記念式典や継承シンポジウムなど多彩な記念事業を行いました。

そうした中、100年ぶりともいわれる公益法人(財団法人・社団法人)の制度改革が行われることになり、平成20年12月1日には公益法人改革関連3法が施行されました。当協会は、業務の内容や組織の性格からも公益財団法人に移行することを目指し、2年間ほどの準備を経て、平成23年4月1日に公益財団法人として設立することができ、新たな歩みを始めました。

## 事業 ※定款から掲載

- (1) 平和に関する諸問題の調査研究
- (2) 原爆被災並びに平和に関する資料の収集、整理、活用及び情報発信
- (3) 被爆体験の継承並びに平和に関する講座、講演会等行事の開催
- (4) 国際平和機関との連携交流
- (5) 被爆体験の継承や平和意識高揚のための助成事業
- (6) 平和に関する出版物の刊行・頒布及び受託販売
- (7) 平和意識の普及に係る物品等の製作・販売
- (8) 法人の目的に適合する諸施設の管理運営等に関する受託事業
- (9) その他法人の目的を達成するために必要な事業

## 会員制度

会費	維持会員(個人)	年額	3,000円以上
	賛助会員(団体・個人)	年額	10,000円以上
	学生会員	年額	1,000円以上
	(会員について詳しくはP2をご参照ください)		

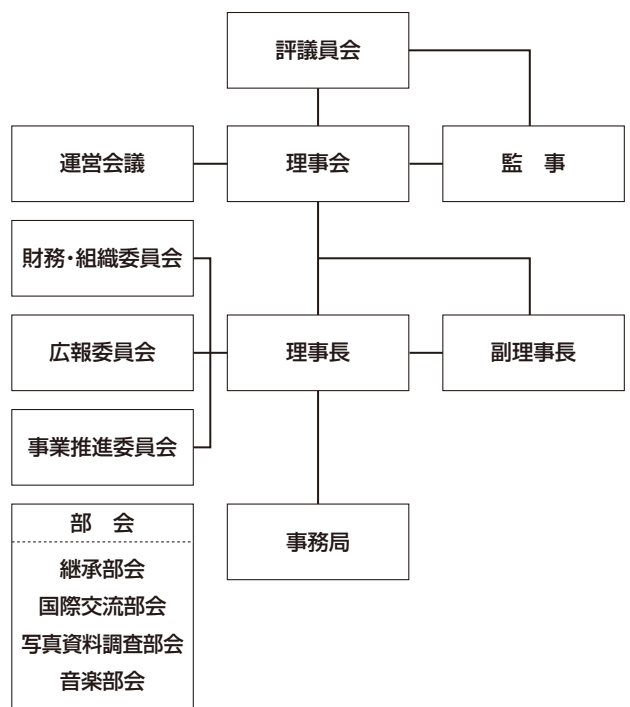
### 会員による部会活動

会員が協会の事業目的を広く周知啓発するとともに円滑な事業遂行に寄与する。

- |           |         |
|-----------|---------|
| ①継承部会     | ②国際交流部会 |
| ③写真資料調査部会 | ④音楽部会   |

## 組織図

(令和4年4月1日現在)





## 会員制度について

核兵器の恐ろしさや平和の尊さを次の世代に伝えていくために、協会では様々な平和への取り組みを行っています。この活動は、長崎県・市からの補助金等の他、会員の皆様からいただいた会費に支えられています。

会員制度には、個人の方を対象とする「維持会員」、団体・個人の方を対象とする「賛助会員」、「学生会員」の3つがあります。会員募集は随時行っており、協会ウェブサイトでの案内の他、イベント等でのチラシ・リーフレット配布等での周知活動を行っています。

### 【会員制度と登録者数（令和4年3月31日現在）】

会員制度	年会費	登録者数
維持会員	3,000円以上	1,023
賛助会員	1口10,000円	166
学生会員	1,000円以上	11



長崎平和推進協会シンボルマーク

平和のシンボル「はと」を、官と民を示す両手が受け止めている様子を表しています。

### 【会員特典】

- ・会員証とバッジ送付 ・会報「へいわ」、ブックレット「平和のあゆみ」送付
- ・協会主催の講演会等への優先来場 ・出版物やオリジナル商品（P14参照）10%オフ
- ・長崎原爆資料館内「ピースカフェ」5%オフ
- ・長崎の感動する中華料理店 寶來軒でのデザート類割引サービス
- ・i+Land Nagasakiでの天然温泉大浴場+岩盤テラス利用料金を大人500円、小学生300円に割引（スパテマパーク利用時はいずれも+200円）
- ・Studio One Nagasakiでの証明写真50%オフ、記念撮影30%オフ
- ・御菓子司 松貴堂での購入代金5%オフ

（令和3年度内でサービス終了）

- ・石窯工房AGRI、元船石窯パン製造所ベッカライナガサキでのパン10%オフ
- ・ザ・ホテル長崎 BWプレミアムコレクション内のカフェ・レストラン割引サービス



## 寄附金について

当協会では、平和関連事業に取り組んでいくために、皆様からの寄附金を広く募集しています。

令和3年度は、下記の方々よりご寄附をいただきました。皆様のご厚意に深く感謝申し上げます。



寄附金について詳しくはコチラ

### 令和3年度 寄附者一覧（敬称略・金額順）

- ・(株)三菱UFJ銀行 (500,000円) ・三根真理子 (179,000円)
- ・網谷麻希 (100,000円) ・故・隈元マツ (100,000円) ・世田谷同友会 (100,000円)
- ・横瀬昭幸 (50,000円) ・大久保一哉 (30,000円) ・田畑祐子 (30,000円)
- ・中川正仁 (30,000円) ・高比良則安 (20,000円) ・吉田照枝 (20,000円)
- ・白鳥純子 (14,000円) ・上西和紀 (10,000円) ・川上正徳 (10,000円)
- ・水谷敦夫 (10,000円) ・山中弘幸 (10,000円) ・渡部朋子 (6,000円)
- ・久保田安子 (4,830円) ・今田拓郎 (4,490円) ・小西慶幸 (4,490円)
- ・(有)ナカノコーポレーション (4,000円) ・小川秀子 (3,000円)
- ・新納かおり (3,000円) ・匿名寄附11件 (81,582円) [合計1,324,392円]



## 賛助会員一覧（団体・法人 敬称略）

ご協力に深く感謝いたします。

旭丘高校の教育を守る会／朝日地区民生委員児童委員協議会／(株)イシマル／(株)一広／(株)イナヅマ電気工事／(株)岩永印刷所／岩屋地区民生委員児童委員協議会／(株)インテックス／(学)ヴィアートル学園  
 洛星中学校／(株)NSNプランニング／(株)NDKCOM／(株)NBCソシア／(株)エビス堂／扇精光ホールディングス(株)／押測クリニック／オックス総合リース(有)／オリエンタルビル管理(株)／(株)オリオン電防／核戦争防止国際医師会議 長崎県支部／核兵器廃絶・平和建設 長崎県民会議／勝山地区民生委員児童委員協議会／カトリック長崎大司教区／上長崎地区民生委員児童委員協議会／機電プラント工事(株)／(株)九州広告／(一財)九州電気保安協会／九州労働金庫／Q-bicソリューションズ(株)／崎陽電気(有)／共楽園緑化建設(株)／協和機電工業(株)／(株)クイックプリント／(医)倉田醫院内科婦人科／(一財)クリーンながさき／(医)行清会 鎌先医院／KNT-CTホールディングス(株)／原水爆禁止長崎県協議会／原水爆禁止長崎県民会議／原爆被爆者特別養護ホーム かめだけ／浄土真宗本願寺派 巍々山 光源寺／小榊立神地区民生委員児童委員協議会／西部ガス労働組合 長崎支部／さかい酒舎／坂本地区民生委員児童委員協議会／(株)三工電機／(株)JR長崎シティ／自治労長崎市役所職員労働組合連合会／(株)事務機のミカドヤ／(株)ジャック・インターナショナル／(株)十八親和銀行／(学)純心女子学園 純心中学校・純心女子高等学校／要法山 常在寺／(株)城保安警備／情報労連長崎県協議会／昭和地区民生委員児童委員協議会／(株)昭和堂／ジョンソンコントロールズ(株)／新興善地区民生委員児童委員協議会／(株)スターライト／(有)正文社印刷所／(株)せがわ住機／SEVEN HEARTS／全国公益法人協会／銭座地区民生委員児童委員協議会／(株)大和総業／高尾地区民生委員児童委員協議会／たちばな信用金庫長崎中央支店／(株)司コーポレーション／(株)ディープリंक／田園調布雙葉中学高等学校 学校行事部／土井首地区民生委員児童委員協議会／浄土真宗本願寺派 湖東山 桃源寺／東武トップツアーズ(株)／(一社)東友会／磨屋地区民生委員児童委員協議会／(一財)長崎YMCA／(株)長崎映像社／(株)長崎ガードシステム／(株)長崎環境美化／長崎県映画センター／(一財)長崎県教育会／長崎県建設産業労働組合／(公財)長崎原子爆弾被爆者対策協議会／長崎県生活協同組合連合会／(一財)長崎県地域婦人団体連絡協議会／長崎原爆遺族会／長崎県被爆者手帳友の会／長崎県平和運動センター／(一社)長崎国際観光コンベンション協会／(株)長崎国際テレビ／長崎市管工業協同組合／(一財)長崎市勤労者サービスセンター／(福)長崎市社会福祉協議会／長崎市小学校校長会／(公社)長崎市シルバー人材センター／長崎市中学校校長会／長崎自動車(株)／(一社)長崎市保育会／長崎市役所従業員組合／長崎市役所職員生活協同組合／長崎商工会議所／(株)長崎消毒社／長崎市老人クラブ連合会／(株)長崎新聞社／(一社)長崎青年会議所／(一社)長崎青年協会／長崎西彼農業協同組合／長崎ダイヤモンドスタッフ(株)／長崎地区労働組合会議／長崎電気軌道(株)／(株)ながさきプレス／長崎放送(株)／(医)緑風会 長崎みどり病院／(福)友愛会 長崎リハビリテーション／(有)ナカノコーポレーション／滑石地区民生委員児童委員協議会／日本通運(株)長崎支店／日本放送協会 長崎放送局／日本空調サービス(株)九州支店／日本図書輸送(株)長崎営業所／日本労働組合総連合会長崎県連合会／(株)橋本商会／(医)康仁会 林医院／(特非)ピースデポ／ピースポート／(株)日立ビルシステム／(一財)広島国際文化財団／(株)福広／(有)宝栄印刷／寶來軒／丸美産業(株)／三重地区民生委員児童委員協議会／ミライト(株)／(福)純心聖母会 恵の丘長崎原爆ホーム／山里地区民生委員児童委員協議会／(株)大和屋／(社福)基督教友愛館 友愛富士見町保育園／(株)ユースフル

## 会費及び寄附金の税額控除について

当協会は特定公益増進法人に該当するため、協会会費・寄附金は、所得税・法人税等の税額控除の対象となります。確定申告時に、「会費領収証（振替払込請求書兼受領書）」または「寄附金領収証」とともに、当協会所管庁が発行した「税額控除に係る証明書」をご提出ください。

「税額控除に係る証明書」は、協会ウェブサイト「会員募集」、「寄附金募集」ページからダウンロードできます。ご不明な点等ございましたら、事務局までお尋ねください。



# I 平和推進事業

## 1 発刊事業

### ① 会報「へいわ」の発行（年4回）

令和4年3月現在 173号発行

協会の事業活動や平和に関する最新情報を提供するとともに、会員のコミュニケーションを図るための機関誌として、会報「へいわ」を発行しています。

会員や関係各機関への送付のほか、広く市民の平和意識の高揚を図る観点から、多くの市民が閲覧できるように、100号以降を協会ウェブサイトに掲載しています。

1回あたりの発行部数 2,300部（A4判8ページ）



### ② ブックレット「平和のあゆみ」の発行（年1回）

協会が行った事業内容等をまとめたブックレット「平和のあゆみ」を毎年発行し、会員や関係各機関へ送付しています。

昭和61年から平成16年までは協会設立以降の事業等を紹介するA5判でしたが、平成17年度からは1年間の出来事を中心とする内容に改めました。

1回あたりの発行部数 1,700部（A4判16ページ）



### ③ 広報活動

#### 【情報BOXの発行（月1回）】 令和4年3月現在 259号発行

会報「へいわ」発行の合間に、イベント開催予定などの最新情報の他、実施した行事の報告などを掲載した「情報BOX」を、理事・監事・評議員、部会員などに毎月送付しています。

協会ウェブサイトでも閲覧できます。

1回あたりの発行部数 約150部（A4判 両面1ページ）



#### 【協会会員入会案内リーフレットの作成】

協会の事業内容の紹介とともに、事業活動の状況や会員の特典などを説明した「協会会員入会リーフレット」を作成しています。会員拡大を図るため、イベント等で配布しています。

#### 【ウェブサイト（URL <https://www.peace-wing-n.or.jp/>）】

協会の設立趣旨や事業概要などの紹介、被爆体験講話・平和案内人をはじめとする平和学習の申込方法の案内の他、会報「へいわ」やブックレット「平和のあゆみ」などを掲載しています。

また、協会発行の出版物やオリジナル商品などのインターネット販売も行っています。



協会サイト  
二次元コード

#### 【SNS等での情報発信】

LINEでは、協会のイベント案内など最新のニュースの他、会報「へいわ」や情報BOXに間に合わなかったお知らせなども案内しています。また新型コロナウイルス感染症の感染拡大時には、随時、平和案内人等の活動状況をお知らせします。

Instagramでは、情報発信の他、青少年ピースボランティア等の活動紹介も行っています。連続企画も開催しており、令和3年度には、「いま世界に届けたい被爆者の言葉」として、ロシアのウクライナ侵攻に対し、継承部会員からのメッセージを掲載しました。

YouTubeでは、平和案内人らによる碑めぐり動画などを公開しています。令和3年度には「原爆遺跡・慰霊碑ウォークマップ」の歩き方ガイドとして「原爆慰霊碑のめぐり方」動画を公開しました。



●LINE、Instagram、YouTubeの二次元コードは、裏表紙に掲載しています。



## 2 啓発事業

### ① 平和学習（被爆体験講話）の実施

長崎市内で平和学習に取り組む小中高校や団体などから依頼を受け、被爆者（継承部会員）が自らの被爆体験や平和の大切さをお話しする「被爆体験講話」を実施しています。

令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4/28～6/7、8/10～9/12、1/21～3/6の間、長崎原爆資料館・国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館が休館となりました。修学旅行の延期・キャンセルが相次ぎ、春季の被爆体験講話は軒並み中止となりましたが、感染状況が少し落ち着いた秋季には修学旅行を実施する学校が増え、講話の申込みも戻りました。

「修学旅行では行けないが、被爆体験講話は実施したい」と希望する学校もあり、継承部会員によるオンライン講話も実施しました。



被爆体験講話の様子

#### 被爆体験講話の年度別件数

年 度	講話件数
平成24年度	1,342
平成25年度	1,312
平成26年度	1,355
平成27年度	1,369
平成28年度	1,227
平成29年度	1,253
平成30年度	1,191
令和元年度	1,168
令和2年度	495
令和3年度	695

#### 令和3年度 講話件数・受講人数 内訳

区 分	講話件数			受講人数
	全体	うち市内	オンライン	
小 学 校	372	56	3	31,685
中 学 校	170	15	4	21,681
高等学校	133	2	9	20,054
一 般	20	0	2	1,636
計	695	73	18	75,056

※表中の「うち市内」は、  
長崎市内の小学校・中学校・高校・一般の講話件数

※ピースネットの実績は、P13をご覧ください。

### 【長崎県主催事業 被爆体験講話者派遣事業】

長崎県が主催する「被爆体験講話者派遣事業」では、被爆者（継承部会員）が県内市町の小中学校や県外の大学を訪れ、被爆体験をお話ししています。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大予防のため、県外大学（留学生対象）への派遣は中止となりましたが、県内市町では例年どおり実施しました。

#### 県内市町（小中学生対象）派遣実績

派遣市町	実施日	受講人数	派遣市町	実施日	受講人数
諫早市	7月5日	75	佐々町	7月12日	110
西海市	7月9日	240	佐世保市	7月14日	238
長与町	7月9日	383	島原市	7月14日	278
松浦市	7月12日	84	西海市	10月6日	20



### 【被爆者証言ビデオ】

令和2年度より、継承部会員が被爆した場所や当時の自宅周辺などを訪れ、被爆前の生活や被爆直後の様子、家族の話、被爆後の暮らしなどについて語る「被爆者証言ビデオ」を作製しています。令和3年度は4人の証言を撮影しました。

このビデオは、継承部会員による被爆体験講話が急遽実施できなくなった場合の代替案の他、平和学習を実施する学校・団体等へのDVD無料貸出、協会YouTubeで公開を行っています。



令和3年度撮影者

田川博康 羽田麗子 丸田和男 山田一美（令和2年度からの累計：8人）

## 2 原爆被災写真パネル・DVD（ビデオ）の貸出

修学旅行などの事前学習の他、写真展の開催などに役立ててもらうため、原爆被災写真パネル・DVD（ビデオ）を無料で貸し出しています。

令和3年度も、新型コロナウイルス感染症の感染拡大対策として被爆体験講話の実施を中止した学校などから、平和学習の代替案としての貸出依頼が多く寄せられました。

令和3年度 写真パネル・DVD（ビデオ）貸出実績

区 分	写真パネル		DVD（ビデオ）	
	件数	件数	本数	
小 学 校	4	14	34	
中 学 校	1	19	49	
高等学校	2	28	63	
一般（自治体等）	8	17	30	
計	15	78	176	

※1回の貸出上限は、  
写真パネル…1セット  
DVD（ビデオ）…3本まで  
となっています。  
事前の申し込みが必要です。

## 3 講演会の開催

会員及び市民に世界恒久平和への諸問題について認識を深めてもらうため、講演会を実施しています。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を受け、開催を中止しました。

## 4 国連軍縮週間「市民のつどい」

10月24～30日の「国連軍縮週間」に合わせ、協会が発足した昭和58年から、市民の平和意識の高揚と平和問題への認識を深めることを目的とする「市民のつどい」を開催しています。

令和3年度も新型コロナウイルス感染症の予防のため、戦時食など飲食物の提供、4部会の企画参加を中止しました。令和2年度に撮影した被爆証言や青少年ピースボランティアによる「千羽鶴」合唱動画の映像上映の他、原爆写真パネル、協会・追悼平和祈念館活動紹介パネルなど、様々な展示を行いました。



令和3年度 開催内容

開 催 日	10月30日 ※軍縮週間中の土曜日、世界平和祈念市民大行進に合わせて実施
場 所	長崎原爆資料館前階段下広場
コーナ－	原爆写真パネル、活動紹介パネル、映像（被爆者証言、「千羽鶴」合唱動画）





### 3 継承事業（長崎市からの受託事業）

#### ① 県外原爆・平和展の開催

長崎県外の方々に、原爆の悲惨さや平和の大切さを知ってもらい、長崎市民の核兵器廃絶の願いを伝えるため、実施しています。

令和3年度は、富山県高岡市と鳥取県(3市)で開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、1都市の展示中止や継承部会員の派遣中止をする中での実施となりました。

国際基督教大学は現地での開催を中止し、学生が主体となってオンラインで被爆体験講話とバーチャル資料展を開催しました。

また、東日本大震災・原子力災害伝承館では、福島と長崎の繋がりのパネルも含めた展示とオンラインで被爆体験講話を実施しました。

今回、新たな展示パネルとして、「次世代への継承の取り組みの展示」と「核兵器廃絶に向けた市民社会の動きの展示」を作成し、展示しました。

令和3年度の開催実績

富山県高岡市	7月9日～16日（913人来場）
鳥取県鳥取市（写真パネル展）	7月9日～15日（124人来場）
鳥取県倉吉市（写真パネル展）	7月21日～26日（70人来場）
鳥取県米子市	新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止
国際基督教大学（オンライン）	12月23日（約30人参加）
東日本大震災・原子力災害伝承館（写真パネル展）	3月5日～21日（2,886人来場）



#### ② 語り継ぐ被爆体験（家族・交流証言）推進事業

被爆者の被爆体験を語り継ぐ「家族・交流証言者」を育成し、被爆体験の次世代への継承を推進します。令和3年度も「託したい方」と「受け継ぎたい方」を募集する交流会を実施し、聞き取りや講話原稿・資料作成等を支援する他、パソコン研修や話し方講座など様々な研修も実施しました。

派遣事業では長崎市内に派遣し、毎月第2木曜、第4日曜に行っている原爆資料館内での定期講話は、新型コロナウイルス感染症の感染状況を見ながら実施しました。

令和3年度実施状況

交流会：9月18日（参加者：14人）、9月19日（参加者：10人）
登録者：129人（講話可能者48人、研修者81人）
講話実施回数：105回（長崎市内）



#### ③ 青少年ピースボランティア育成事業

中学生を除く15歳から30歳未満の青少年が被爆の実相や戦争について学び、様々な視点から平和について考え、行動することにより、被爆体験の継承と平和意識の高揚を図ります。

令和3年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、大半の学習会をオンラインと併用で実施することで、県外在住のボランティアの参加も増えました。また、8月9日の平和祈念式典でのボランティア活動の他、オンラインでの広島との交流や、県内の戦争関連施設のバスツアー、自主企画グループの活動（「千羽鶴」合唱動画の制作）なども実施しました。



令和3年度の登録者数

171人（高校生 71人、大学生 40人、社会人15人、その他45人）



## 4 青少年ピースフォーラム

8月9日の平和祈念式典にあわせて全国の自治体が派遣する平和使節団の青少年と、地元長崎の青少年とが一緒に被爆の実相や平和の尊さを学習し、交流を深めることで、平和意識の高揚を図ります。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、8月8・9日に各自治体とオンラインで繋いで開催しました。オンラインとはいえ、被爆体験講話や、被爆建造物等の紹介、現地からの生中継や紙芝居の朗読など例年のプログラムに近い内容で2日間にわたり実施しました。

また、このフォーラムにあわせて青少年ピースボランティアの「千羽鶴」合唱動画を配信しました。

令和3年度「オンライン青少年ピースフォーラム」

実施日：8月8日・9日

参加者：18自治体178人、長崎市（青少年ピースボランティア）46人



「千羽鶴」合唱動画は  
コチラから

## 5 青少年平和交流

長崎市内の高校生をハワイへ派遣し、現地の若者との意見交換などで互いに学び合い、世界に向けて原爆の悲惨さや平和の尊さを発信することを目的とする事業です。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による渡航制限のため、派遣は中止となりましたが、オンラインでの研修プログラムに9人の高校生が参加。事前学習として、被爆体験講話の聴講や、ハワイに関する研修、長崎原爆や現在の核兵器に関する研修や英語研修などを行いました。プログラムの最後には、ハワイの学生らとの交流会を実施しました。



令和3年度 ハワイとの研修（オンライン）

第1回 9月26日 プレセミナー

ハワイ大学マツナガ平和研究所、現地教育機関（REAL Innovative Connections）

第2回 10月17日 メインセミナー

## 6 平和学習発表会

長崎市内の中学生が、日頃取り組んでいる平和学習の成果などの発表を通して、各校における平和への取り組みを発展させることを目的としています。

8月25日に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止となり、参加予定であった中学校より発表資料を集め、「令和3年度平和学習発表会 発表資料集」として冊子にまとめ、長崎市内の全中学校に配布しました。





## 4 育成事業

### ① 部会活動

#### 【継承部会（部会員 41人）】

自らの被爆体験や平和への思いなどを、「被爆体験講話」として話しています（詳細は5～6ページ）。

講話以外にも、部会内に事業班を作り、活動しています。新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、原爆遺跡研修班による市民対象碑めぐりなどは延期となりましたが、継承交流班による被爆体験の深化講座などは、感染対策を講じながら実施しました。

#### 【国際交流部会（部会員24人）】

ポットラックパーティーや例会などを毎月開催し、外国の方との相互理解を深めています。年間13人ほどの方から母国紹介の他、問題・文化・関心事など多岐にわたる話題を直接聴いたり質問したりして交流を図っています。通訳は部会員が努めます。

折り鶴の折り方を出前講座で教えることもあります。ご参加をお待ちしています。



#### 【写真資料調査部会（部会員 9人）】

被災写真や平和関連資料の収集と調査・整理とともに、定期的に原爆写真展を開催しています。令和3年度は長崎市立図書館で、AI技術等でカラー化された被爆前後の広島・長崎の写真や、未公開写真やパノラマ写真を展示した「ナガサキ原爆展」を開催しました。

長崎市から受託する「米国国立公文書館資料検証業務」の検証作業も行いました。



#### 【音楽部会（部会員17人）】

音楽を通じて平和を訴えることを目的として活動しています。

令和3年度は、8月に「心と魂が寄りそい響き合うコンサートへようこそ」をテーマとして「長崎平和音楽祭」を開催し、大成功に終わりました。新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、「市民のつどい」等へは参加中止となりました。



### ② 平和案内人の育成と派遣

協会では長崎原爆資料館や国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館、周辺の被爆建造物等のガイドを行う「平和案内人」を育成し、現在、第1期生から第7期生まで163人が登録・活動しています。長崎原爆資料館正面玄関で待機する「常駐ガイド」の他、学校・個人・団体等からの事前予約に対する「資料館予約ガイド」、「碑めぐりガイド」に分け、希望に応じながら案内しています。

また研修として、年3回程度、「全体会」を開催しています。

#### ◆活動実績（令和3年度）

区分	申込件数	利用者数	ガイド活動人数(延)
常駐ガイド	690件	1,918人	586人
資料館予約ガイド	22件	688人	80人
碑めぐりガイド	92件	3,939人	432人
合計	804件	6,545人	1,098人



※常駐ガイドは4月21日～6月23日、7月31日～9月24日、1月15日～3月28日まで活動中止。

#### ◆令和3年度 全体会

- 4月17日 「原爆で消えた長崎の地図」 講師：布袋 厚、松田 斉
- 10月17日 「理事長就任にあたって」 講師：調 漸



### 3 アジア青年平和交流事業

長崎県内の高校生・大学生から、「自分たちが考える国際・平和プログラム」をテーマに自由な企画を募集し、その活動を支援しています。

令和3年度は、下記の3団体を認定しました。

#### 【令和3年度 認定事業】

##### 長崎純心大学 DBS

中国・大連大学と、台湾・文藻外語大学（長崎純心大学の姉妹校）の日本語学科の学生らと、オンラインで平和をテーマとした対話を行う。平和についての考え方、平和を実現するために若者がどのように貢献できるかを話し合い、共同宣言文を作成した。



成果報告会の様子

##### 活水高等学校 平和学習部

「RE:EARTHを世界に」として、長崎新聞「私の被爆ノート」から、被爆時に少女だった13人分の被爆証言を英訳した。Googleマップ上でそれぞれの被爆地点に英訳した証言を貼り付けて公開したことにより、世界中どこからでも読めるようにした。

##### 長崎大学 学生国際NGO BOAT

貧困地域におけるボランティア活動などを通して、世界の貧困状況について身をもって学ぶとともに貧困地域の人たちに対してできることを考えるため、ラオスを訪問する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、実施を中止した。

### 4 共催・協力・後援等事業

#### 令和3年度 共催事業

事業名	主催団体	開催期間	開催場所
第36回長崎平和音楽祭	長崎平和音楽祭実行委員会	8月1日	長崎原爆資料館ホール
第13回 ～語り合おう in Nagasaki～ 外国人による日本語弁論大会	外国人による日本語弁論大会 実行委員会	11月6日	国立長崎原爆死没者追悼 平和祈念館 交流ラウンジ

#### 令和3年度 協力事業

事業名	主催団体	開催期間	開催場所
ナガサキ・土崎 被爆証言講話会	秋田市	7月14～28日	オンライン 他

#### 令和3年度 後援事業

事業名	主催団体	開催期間	開催場所
ドキュメンタリー映画を観る会 「ヒロシマへの誓い サーロー 節子とともに」上映会	長崎県映画センター	6月27日～7月25日	長崎県内
ナガサキ 映画と朗読プロジェクト	ナガサキ 映画と朗読 プロジェクト実行委員会	7月24～25日	長崎原爆資料館ホール
第13回紙しばい発表会	紙しばい会	7月25日	長崎原爆資料館 平和学習室



事業名	主催団体	開催期間	開催場所
国際平和シンポジウム2021 「核兵器廃絶への道」	広島市、 広島平和文化センター、 朝日新聞社	7月31日	広島国際会議場
第68回 長崎原爆忌平和祈念俳句大会	長崎原爆忌平和祈念俳句 大会実行委員会	7月31日	長崎原爆資料館 平和学習室
第59回 原爆忌文芸大会	特定非営利活動法人 長崎国際文化協会	8月2～10日(展示) 8月7日(大会)	長崎ブリックホール
新作能 「長崎の聖母」「ヤコブの井戸」	公益社団法人 鏡仙会	8月4～8日	座・高円寺
開港450周年記念 「平和の祈りキッズゲルニカ in ながさき」 国際子ども平和壁画展	長崎親善人形の会 (瓊子の会)	8月6～31日	原爆落下中心地公園 下の川
被爆76年 連合2021 平和ナガサキ集会	日本労働組合総連合会	8月8日	長崎県立総合体育館
2021ピースアクション in ナガサキ 虹のひろば	長崎県生活協同組合連合会	8月8日	NBCソシア
映画 「祈り～幻に長崎を想う刻～」	映画「祈り」を応援する会	8月13日～9月30日	ユナイテッドシネマ長崎
被爆者のいまを伝えよう フォトグラファー体験事業	Studio One Nagasaki	9月1日～ 令和4年3月31日	長崎市内
「核なき世界基金」ワークショップ 「世界のヒバクシャとともに」 -支援のあり方を考える	核なき世界基金	10月30日	長崎市平和会館ホール
川村奈美子ピアノリサイタル ～平和を願って～	一般社団法人 アルテ・クラシカ協会	11月6日	長崎NBCビデオホール
ナガサキの悲劇を音楽と朗読で紡ぐ日	一般社団法人ナガサキの 郵便配達制作プロジェクト	11月22日	日比谷図書文化館日比谷 コンベンションホール
第43回 長崎YMCA 「平和の使者」クリスマスカードコンテスト	長崎YMCA 長崎ワイズメンズクラブ	11月26日～12月27日	長崎YMCAほか
東日本大震災・原子力災害伝承館 長崎特別展示	東日本大震災・原子力災害 伝承館	12月3日～19日	国立長崎原爆死没者追悼 平和祈念館 交流ラウンジ
長崎から世界へ「ピースなTシャツ」 デザイン募集	(有)ナカノコーポレーション Tshirt shopナカノ	12月16日～1月31日	(募集企画)
長崎を最後の被爆地に!朗読劇	長崎を最後の被爆地に! 朗読劇の会	12月25日	長崎原爆資料館ホール

## 5 秋月グラント

平成10年、当協会設立15周年を機に「ナガサキ平和創設グラント」を創設し、平和意識高揚のための事業などを行う団体や個人を助成してきました。

平成16年、協会の初代理事長である故・秋月辰一郎氏を顕彰しようという機運が高まり、「秋月グラント」と名称を改め、多くの方々に助成制度を利用していただけるよう門戸を広げました。

### 令和3年度 秋月グラント事業助成状況

団体・個人名	事業名称	事業目的・内容	実施期間・場所
Pray for Peace Collection 2021 in 長崎実行委員会	Pray for Peace Collection 2021 in 長崎	「長崎を最後の被爆地としたい」 という平和への願いを、ファッ ションとアートで表現する	8月9日 長崎港松が枝国際 ターミナル



## II 国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館運営事業（主な事業の紹介）

「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律」に基づいて平成15年に開館した「国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館」の施設管理と事業運営を国から受託し、様々な事業を行っています。

前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策の徹底を行い、来館者の安全対策を図りました。

### 原爆死没者の氏名・遺影の登録及び死没者名簿の保管

原爆死没者を追悼するとともに、原爆で多くの方が犠牲になった事実を伝えるため、氏名・写真（遺影）を収集し、登録のうえ館内で公開しています。また、原爆死没者の氏名を記載した「原爆死没者名簿」を追悼空間に保管しています。

令和3年度は、福岡県・佐賀県・熊本県に協力依頼を行うとともに、長崎県・市と連携して、氏名・遺影の登録に取り組みました。

令和3年度実績：305人（累計10,235人）



追悼空間

### 被爆体験記などの収集・整理・公開

原爆の惨状を多くの人に伝えるため、被爆者が書かれた被爆体験に関する手記・日記・書簡や、遺族・友人らによる追悼記などを集めています。収集した被爆体験記は、遺影・手記閲覧室内の情報端末機器などで公開・展示しています。

令和3年度実績（体験記収集）：36人分（累計517人分）



### 企画展の開催

所蔵する被爆体験の中からテーマを定めて選出し、英語・韓国語・中国語に翻訳して展示します。

令和3年度は、爆心地・浦上地区に関係のある体験記4編のパネルや資料を展示し、体験記の執筆者である被爆者の証言映像を上映、トークイベントも併せて実施しました。

令和3年度実績：「浦上の記憶」 11月19日～28日

### 被爆体験記執筆補助

「被爆の記憶を体験記として残したいけれど、自分一人では文章にまとめられない」という被爆者の方を対象として、平成17年度から職員による聞き取りと代筆を実施しています。

令和3年度実績（聞き取り）：21人（累計102人）

### 被爆者証言ビデオ等の制作

被爆の実相を後世に伝えていくために、被爆体験に係る証言ビデオを制作・収集し、館内で閲覧に供するほか「グローバルネット」等で公開しています。

令和3年度実績：国内7人、海外3人（累計495人）

### 被爆体験記朗読ボランティア「被爆体験を語り継ぐ 永遠の会」育成・派遣

被爆体験記の朗読によって被爆体験を継承することを目的として、追悼平和祈念館内での常駐朗読の他、全国の学校等での朗読を行っています。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、常駐朗読・毎月9日開催の「9日を忘れない」とともに一時活動を中止しました。また開催場所を地下1階の追悼コーナーに変更しました。

令和3年度実績：常駐朗読48日、派遣朗読31回



### 家族・交流証言者等派遣

被爆の実相、平和への想いを次世代に語り継ぐため、令和30年度から「家族・交流証言者」および「被爆体験記朗読ボランティア」を全国へ無料で派遣しています。令和2年度からは「被爆者」の方の派遣も開始しました。

令和3年度実績：95件（国内・長崎市外94件、海外1件）  
（内訳：被爆体験講話13件（うち海外1件）、家族・交流証言講話57件、被爆体験記朗読会25件）



### 平和ボランティア育成外国語講座

平和公園周辺などを外国語で案内するボランティアガイドを育成しています。

令和3年度実績（修了者）：英語9人、韓国語10人、中国語8人

### ピースネットの実施

祈念館と遠隔地の学校や団体などとインターネット会議システムで結び、被爆体験講話等を実施しています。令和3年度は、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため修学旅行に来ることができない学校から、オンライン修学旅行としての依頼が増加しました。

令和3年度実績：55回

### 海外原爆展の開催

被爆の実相を広く世界に伝えるため、被爆60周年（平成17年）から実施しています。

令和3年度は、ドイツで開催しました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、職員および被爆者の渡航は中止し、展示のみ実施しました。また、被爆体験講話はオンラインで行いました。

令和3年度実績：ドイツ・ヴュルツブルク市（シーボルト博物館）  
10月1日～11月28日（写真展のみの開催・350人来場）

### アジアの若者による平和ネットワーク構築プログラム

アジアの若者による平和ネットワークの構築・拡大を目指し、平成22年度から実施しています。

令和3年度は「Building Community for Nuclear Abolition- Challenge Under the Pandemic コロナ禍での発信—世界を知り、社会とつながる核廃絶」をテーマに、社会と世界に向けた平和の発信を意識したプログラムを実施しました。また、継続するパンデミックの状況を鑑み、2日開催とし、オンラインで実施しました。

令和3年度実績：2月25日・26日 参加者：海外及び留学生、日本人学生（広島、沖縄、長崎）40人

### 国際平和映画祭の開催

映画を通じて平和の大切さや被爆の継承について考える契機として、原爆や平和をテーマにした映画を上映します。

令和3年度は3作品を上映したほか、「Sakura&Pearls」に出演した広島、長崎の被爆者とジョージ・K・ハンター監督によるオンライントークセッションも行いました。

令和3年度実績：12月19日  
上映作品「ヒロシマへの誓い」「Sakura&Pearls:Healing from World War II」  
「NAGASAKI 1945 アンゼラスの鐘」

### 「被爆の実相の伝承」のオンライン化・デジタル化事業の実施

長崎大学核兵器廃絶センター（RECNA）に委託し、祈念館が収蔵する被爆者の体験記等をデジタル化し、学生向けの教材としてインターネットで国内外の大学に提供するなど、若い世代への被爆の実相を伝える取組みを実施しました。

令和3年度は、県内外から「被爆前の長崎」をテーマとした写真を収集し、その写真を活用した映像教材制作や、米軍の航空写真も使った爆心地周辺のデジタルマップの制作に着手しました。

- 被ばく医療関連情報の収集・整理・提供（被爆者健康講話）は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止し、講師の講話を録画したものを祈念館ホームページに掲載しました。



### Ⅲ 収益事業（図書など販売）

平和推進事業の実施に必要な自主財源を確保するために、原爆に関する書籍や平和グッズを作製しています。

協会ウェブサイトでは協会発行の出版物・オリジナル商品などを紹介し、オンライン販売を行っています。また長崎原爆資料館内のミュージアムショップでも委託契約で販売しています。令和3年度には、「長崎原爆資料館 資料館見学・被爆地めぐり「平和学習」の手引書」の増補改訂版を発行しました。



図書・グッズ販売ページ URL <https://www.peace-wing-n.or.jp/shop/>



販売ページは  
こちらから

#### 【協会発行の出版物・オリジナル商品など取扱商品一覧】

- 書籍
  - ・原爆被爆記録写真集 ・増補改訂版 長崎の原爆遺跡・慰霊碑ウォークマップ
  - ・長崎原爆資料館 資料館見学・被爆地めぐり「平和学習」の手引書（増補改訂版）
  - ・ながさき原爆の記録 ・ナガサキの記憶（中国語版）
  - ・ピーストーク（第8巻・第10巻）
- 商品
  - ・絵はがき（長崎原爆資料館） ・折り紙 ・折鶴ストラップ ・缶バッジ（2色）
  - ・キーホルダー ・クリアホルダー（4色） ・Tシャツ（龍柄2色・Peaceロゴ3色）
  - ・トートバッグ ・ピンバッジ ・マグネット
  - ・ミニタオル（あじさい柄2色・折鶴柄2色） ・リストバンド
  - ・折り鶴再生紙商品（一筆箋・名刺台紙（2種）・A4用紙・A4賞状用紙・A6リングノート）
  - ・紙芝居「嘉代子桜」 ・ながさき平和学習ナビ ・ピースTシャツ

### 理事・評議員・監事について

協会の効率的な運営や議論の活発化を図るため、令和3年度に任期満了となる理事の人数の見直しを行いました。

あわせて、6月4日に開催した定時評議委員会において9期18年間理事長を務めた横瀬昭幸<sup>てるゆき</sup>理事が退任し、臨時理事会で新しく<sup>しんべすむ</sup>調漸理事が理事長に就任しました。

#### 令和3年度

理事長	調 漸	評 議 員	相本 倫子	評 議 員	槌田 禎子
副理事長	升本 由美子	//	池本 仁史	//	船本 貴之
//	三根 眞理子	//	大矢 正人	//	前島 慶太郎
理 事	石田 謙二	//	紀伊 義孝	//	前田 孝志
//	岩永 洋一	//	北野 健一郎	//	真島 和博
//	岩満 由美	//	久保 純一	//	松尾 恵子
//	藤田 正秀	//	久保田 修寿	//	森田 幸一
//	篠崎 桂子	//	桑原 伸良	//	吉原 幹男
//	田中 重光	//	小西 慶幸	//	渡部 明
//	本田 魂	//	小柳 勝彦	監 事	佐藤 宏文
//	宮崎 裕輝	//	坂口 育裕	//	小川 智央





# 公益財団法人 長崎平和推進協会 この一年の動き

## 4月

- 1日 市政功労表彰式 (写真資料調査部会)
- 8日 第1回 継承部会 総会
- 17日 第1回 平和案内人 全体会  
青少年ピースボランティア ボランティア説明会
- 21日 平和案内人 常駐ガイド中止  
永遠の会 常駐朗読中止
- 25日 家族・交流証言者 定期講話中止
- 28日 追悼平和祈念館 臨時休館 (～6月7日)  
被爆体験講話 中止  
平和案内人 碑めぐり・資料館予約中止  
家族・交流証言者 派遣中止



「9日を忘れない」(4月9日)

## 5月

- 14日 第1回 運営会議
- 20日 第1回 理事会 (通常)
- 26日 書籍「長崎原爆資料館」販売開始
- 27日 原爆死没者名簿風通し

## 6月

- 4日 第1回 評議員会 (定時)  
第2回 理事会 (臨時)
- 8日 被爆体験講話 再開  
平和案内人 碑めぐり・資料館予約再開  
家族・交流証言者 市内派遣再開
- 23日 家族・交流証言者 定期講話 (オンライン開催)
- 24日 平和案内人 常駐ガイド再開
- 26日 永遠の会 常駐朗読再開
- 27日 家族・交流証言者 定期講話再開



新旧理事長 記念撮影 (6月4日)

## 7月

- 9日 永遠の会「9日を忘れない」再開
- 21日 第3回 理事会 (臨時)  
被爆76年 ナガサキ原爆写真展 (写真資料調査部会) ～26日まで
- 31日 平和案内人 常駐ガイド中止  
永遠の会 常駐朗読中止

## 8月

- 6日 第2回 評議員会 (臨時) 決議の省略 (書面決議)
- 8日 青少年ピースフォーラム (～9日)  
家族・交流証言者 特別講話  
永遠の会 派遣朗読中止
- 10日 追悼平和祈念館 臨時休館 (～9月12日)  
被爆体験講話 中止  
平和案内人 碑めぐり・資料館予約中止  
家族・交流証言者 定期講話、派遣講話中止



青少年ピースフォーラム (8月8・9日)



## 9月

- 5日 アジア青年平和交流事業 発表・審査会
- 13日 被爆体験講話 再開  
平和案内人 碑めぐり・資料館予約再開  
家族・交流証言者 派遣再開（佐世保市を除く長崎県内）
- 18・19日 家族・交流証言者 交流会
- 24日 第2回 継承部会総会
- 25日 平和案内人 常駐ガイド再開  
永遠の会 常駐朗読再開
- 26日 家族・交流証言者 定期講話再開

## 10月

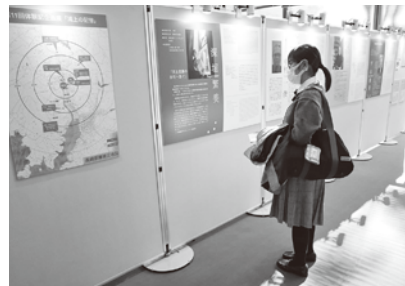
- 17日 第2回 平和案内人 全体会  
青少年平和交流事業 「ハワイとつなぐオンラインセミナー」
- 27日 第2回 運営会議
- 30日 市民のつどい



「ハワイとつなぐオンラインセミナー」  
(10月17日)

## 11月

- 19日 第11回体験記企画展「浦上の記憶」～28日まで
- 27日 第6回 被爆体験の深化講座「防空壕の話」



第11回体験記企画展「浦上の記憶」  
(11月19～28日)

## 12月

- 3日 東日本大震災・原子力災害伝承館「長崎特別展」～19日まで
- 19日 長崎国際平和映画祭

## 1月

- 15日 平和案内人、常駐ガイド、碑めぐり・資料館予約 活動中止
- 16日 「記憶を紡ぐデジタルストーリーテリング」講演会
- 21日 追悼平和祈念館 臨時休館（～3月6日）  
家族・交流証言者 定期講話、派遣講話中止  
永遠の会 常駐朗読中止
- 23日 被爆体験講話中止

## 2月

- 16日 第4回 理事会（臨時）
- 25日 アジアの若者による平和ネットワーク構築プログラム ～26日まで

## 3月

- 5日 長崎原爆・平和展（東日本大震災・原子力災害伝承館）～21日まで
- 7日 被爆体験講話再開  
平和案内人 碑めぐり・資料館予約再開  
家族・交流証言者 定期講話、派遣講話再開
- 9日 三役会
- 13日 アジア青年平和交流事業 成果報告会  
青少年ピースボランティア バスツアー（佐世保市・川棚町）
- 15日 第5回 理事会（通常）
- 21日 青少年ピースボランティア 広島研修（オンライン）
- 29日 平和案内人 常駐ガイド再開



青少年ピースボランティア・バスツアー  
(3月13日)



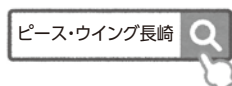
ピース・ウイング長崎  
**平和のあゆみ**  
(令和3年度 事業報告)

---

2022年5月発行

公益財団法人 長崎平和推進協会

〒852-8117 長崎市平野町7番8号  
電話(095)844-9922 FAX(095)844-9961  
URL:<https://www.peace-wing-n.or.jp/>





V・ファーレン ピースサポーター

### 長崎平和推進協会SNS



ウェブサイト



公式LINE



PEACE\_WING0809

公式Instagram



公式YouTube



核兵器廃絶と世界恒久平和を目指して活動  
を続けている当協会では、SDGsの目標16  
「平和と公正をすべての人に」に取り組み、  
みんなが安心して参加できる平和な社会を  
作るべく、活動していきます。